

400mL献血

にご協力ください

男性:17歳以上・女性:18歳以上

(男女とも50kg以上の方)

献血が必要なわけ

最多は抗がん剤との併用！

輸血はどのような時に使われるのでしょうか？白血病やがんの患者さんに使われる抗がん剤は、その副作用のため貧血が起こることが多く、輸血が必要となります。抗がん剤との併用が70%程を占めています。このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

長期保存ができない！

血液は生きた細胞の集まりなので、長い間保存ができません。いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてははいけません。

全国で1日約3,000人！
奈良県で1日約100人！

何の数字だと思いますか？
実は、輸血を受けている患者さんの数なんです。
毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、血液はいまだに人工的に造ることができません。
だから、「献血」でたくさんの人から血液を集めるしかないので。



項目	全血献血	
	200mL献血	400mL献血
1回献血量	200mL	400mL
年齢	16歳～69歳※1	男性17歳～69歳※1 女性18歳～69歳※1
	ただし、65～69歳の者については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた者に限る。	
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも50kg以上
最高血圧	90mmHg以上180mmHg未満	
最低血圧	50mmHg以上110mmHg未満	
脈拍	40回/分以上100回/分以下	
体温	37.5℃未満	
血色素量	男性12.5g/dL以上 女性12.0g/dL以上	男性13.0g/dL以上 女性12.5g/dL以上
1年※2に献血できる回数 (1年は52週として換算)	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内
1年※2に献血できる 総献血量 (1年は52週として換算)	400mL献血と200mL献血を合わせて 男性1,200mL以内・女性800mL以内	



今回の献血	200mL献血	400mL献血
次回の項目		
血漿成分献血	男女とも4週間後の 同じ曜日から	男女とも8週間後の 同じ曜日から
血小板成分献血		
400mL献血		男性は12週間後 女性は16週間後の 同じ曜日から
200mL献血		

※1 65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験のある方に限ります。
※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

成分献血は下記の2箇所にて受付しております。※年末・年始は適宜実施します。

奈良県赤十字血液センター		近鉄奈良駅ビル献血ルーム	
住 所	大和郡山市筒井町600-1 (近鉄筒井駅西側徒歩3分)	住 所	奈良市東向中町28 (奈良近鉄ビル6階)
開 所 日	毎週火・木・金・日曜日	開 所 日	毎日
受付時間	9:00～17:00 (成分献血は受付16:00まで)	受付時間	10:00～18:00 (成分献血は受付17:00まで)
フリーダイヤル	0120-566-245	フリーダイヤル	0120-397-722
電 話	0743-56-6100	電 話	0742-22-2122

URL <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/nara/> ▶



献血をご遠慮いただく場合

以下の事項に該当する方には、原則として献血をご遠慮いただいています

1. 当日体調不良の方（以下の場合を含みます）
 - ・睡眠時間の短い方（目安：4時間未満）
（夜勤明けの方は仮眠時間や夜勤前睡眠時間を教えてください）
 - ・食事を長時間取っていない方
2. 当日にお薬を飲まれた方（痛み止め、風邪薬など）
（**血圧、尿酸値、コレステロール、アレルギー**（花粉症等）のお薬は当日服用でも **OK** です。その他は献血会場にてお問い合わせください）
3. 3日以内に出血を伴う **歯科治療**（歯石除去を含む）を受けた方
4. 新型コロナの検査で陽性となった方
（陰性化してから **2週間経過**すれば献血可能となります）
5. ファイザー製・モデルナワクチン接種後、48時間以内の方
（※他社のワクチンについては献血会場にてお問い合わせください）
6. ・ **輸血歴**（自己血輸血は除く）・臓器移植歴
・ヒト由来プラセンタ注射薬の使用歴
7. エイズ、肝炎などのウイルス保有者、またはそれと疑われる方
8. クロイツフェルト・ヤコブ病（狂牛病）の方、または疑われる方
（イギリスに1カ月、他ヨーロッパ諸国に6カ月以上滞在された方）
9. **妊娠中、授乳中**等の方
10. 6ヶ月以内に不特定の異性または新たな異性との性的接触があった方
11. 6ヶ月以内に男性同士の性的接触があった方
12. 49キロ以下の体重の方（**原則**体重50キロ以上の400mL献血限定のため）
※200mL献血は事前に相談をお願いします（本数に限りあり）
13. 65歳以上の方（但し、60歳～64歳の間に献血経験ある方は69歳まで延長されます）

献血をご遠慮いただく可能性のある場合

1. 6か月以内にピアス穴をあけた方、いれずみを入れた方
2. 大きいケガや咬傷、骨折のある方
3. 海外旅行及び海外生活のあった方
4. 一定期間に新型コロナ感染症以外の予防接種された方
（インフルエンザワクチンは接種後24時間経過で献血可能）
5. 特定の病気にかかったことのある方
（心臓病・悪性腫瘍・けいれん性疾患・血液疾患・喘息・脳卒中等）

※上記は目安であり、最終的な献血可否は検診医の判断になります

献血カードをお持ちの方は献血可能日の確認をお願いいたします

献血可能日を経過していない方はまたの献血をお待ちしております

新型コロナウイルス感染症に関するお願い

《 献血前 》

以下に該当される方は

「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）で陽性になったことがあり、**症状軽快から**（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）**2週間以内の方**
- ◆発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる**症状出現日から2週間以内の方及び症状軽快から3日以内の方**
- ◆同居されている方が新型コロナウイルス感染者に該当し、発症日から**1週間以内の方**

《 献血後 》

献血にご協力いただいた方へ

以下に当てはまる場合は、献血日、氏名、生年月日を、できるだけ早く血液センターにご連絡をお願いします。

- 献血後 2 週間以内に
 - ①「新型コロナウイルス感染症」と診断された、または新型コロナウイルス検査(PCR または抗原検査)が陽性になった。
 - ②発熱及び咳・呼吸困難などの呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状があった。
- 献血翌日までに同居されている方が新型コロナウイルス感染者または疑う症状があった。

症状の発生状況等もお聞きすることがあります。

ご連絡をいただいた方のプライバシーは確実に守られますのでご安心ください。

各血液センターお問い合わせの一覧はこちらから
<https://www.jrc.or.jp/about/search/bloodcenter>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



ご存知ですか？
一部のお薬は服用されていても、
献血にご協力いただけます。

当日服薬していても可能なおもな薬剤

①ビタミン剤	貧血治療薬・ビタミンKを除く
②ミネラル剤	貧血治療薬を除く
③漢方薬	肝疾患・感冒・喘息等のための服用を除く
④高脂血症治療薬	エパテール・ロトリガ等を除く
⑤花粉症治療薬	ステロイド系抗アレルギー薬(セレスタミン、アフシラジン等)を除く
⑥胃腸薬	制吐剤・感染性下痢症を除く
⑦低用量ピル	
⑧少量の女性ホルモン	
⑨サプリメント(栄養補助食品)	
⑩抗潰瘍剤	消化管潰瘍がある場合を除く
⑪局所投与の薬物(点鼻薬、点眼薬、塗り薬、張り薬等)	病原微生物に対する局所療法薬は一部不可
⑫緩下剤(アローゼン、センナ、セレミンソフト、フルセミド等)	
⑬降圧剤	心、腎、血管系の合併症がないこと。複数内服も可能。 血圧がほぼコントロールされていること。当日の血圧を考慮します。
⑭高尿酸血症治療薬(サイロリック、ユリノーム等)	痛風治療時等は除く



当日服薬していなければ可能な薬剤(前日までの服薬)

① 内服用筋弛緩薬	
② 睡眠薬、抗不安薬、マイナートランキライザー	
③ 消炎酵素剤	炎症症状がないこと
④ 前立腺肥大症治療薬	アボダート、アボルフ、フロスカール、フロペシア等を除く
⑤ 利胆薬(ウルソ、ウルソサン、ケノコール等)	

最終服用日から3日以上経過していれば可能な薬剤

①向精神薬	抗不安剤、マイナートランキライザーを除く
②抗菌薬(抗生物質、合成抗菌薬)、抗結核薬、抗ウイルス薬	
③止痢薬	
④非ステロイド系抗炎症薬(解熱鎮痛薬)・風邪薬	
⑤痛風発作治療薬	
⑥喘息治療薬(発作の有無を考慮)	
⑦事後に服薬する緊急ピル	
⑧ステロイド系抗アレルギー薬 (セレスタミン、アフシラジン等)	



その他

予防接種	48 時間後可能なおもなワクチン……新型コロナなど(※ファイザー社・モデルナ社)(※他社のワクチンについては会場にてお問い合わせ下さい)
	24 時間後可能なおもなワクチン……インフルエンザ・子宮頸がんなど
	4 週間後可能なおもなワクチン……麻疹・風疹など
	2 週間後可能なおもなワクチン……B型肝炎

ただし、献血にご協力いただけるか否かの判断は、お薬の種類だけでなく、
ご本人の体調、服薬目的、症状等を考慮して、**検診医師が最終的な判断を行います。**
可能であれば、お薬又はお薬の説明書をご持参下さい。